

平成27年度 飯田市議会報告会

産業建設委員会報告

- 定例会における委員会審査状況報告
 - 平成26年第4回定例会…………… 1
 - 平成27年第1回定例会…………… 2
 - 平成27年第2回定例会…………… 3
 - 平成27年第3回定例会…………… 4
- 平成26年度決算認定に係る事務事業に対する提言…………… 5～8
- 平成26年度議会報告会を起点とした調査研究報告…………… 9～11
 - 「鳥獣被害対策について」
 - 「遊休農地、耕作放棄地対策について」
 - 「市の観光施策について」

産業建設委員会

10月20日から22日まで管外視察を行い、11月26日及び12月12日に委員会を開催しました。これらの様子を紹介します。

議案第146号

飯田市農村環境改善センター条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

施設の改修に伴い、新たに整備された会議室の使用料等を定める。

センターに新たな会議室を増築したのか

Q 会議室1及び会議室2が新たに使用できるようになったとのことであるが、会議室を増築したのか。

A 会議室は以前から自治振興センターの2階にあったが、公民館として使用してこなかった。今回の耐震改修にあわせ、公民館として一体的な使用が可能となった。

議案第148号

飯田市天龍峡温泉交流館条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

天龍峡温泉交流館を指定管理者に管理させるため、必要な規定の整備を行う。

施設の修繕に係る費用負担の基準は決まっているか

Q 施設が老朽化しているが、今後修繕等を行う際の市と指定管理者の費用負担に関する基準等は決まっているか。

A 今回は指定管理者を導入するための条例改正である。修繕等を行う際の基準については、今後行う指定管理者の選定に伴い、指定管理者と協議を行うっていく。

議案第158号

損害賠償の額を定めることについて

案件の概要

平成26年8月2日に市有地で発生した、倒木による自動車の物的損害に係る賠償額を定める。

過失割合に関する判断は

Q 市が指定した駐車場以外に駐車をしていて被害にあっており、先方の過失も大きいと考えるが、過失割合についてはどのように判断をしたのか。

A 現地は、市の所有地を、何人かに分けて貸しているところである。今回相手方が駐車していた場所は、共有地的に使用している場所であり、過失割合等については、弁護士と相談をしたうえで、総合的に判断をしたものである。

議案第163号

平成26年度飯田市一般会計補正予算(第5号)案

市田柿の脱針式皮むき器の補助総額と事業予定は

Q 今回の補正により、市田柿脱針式皮むき器の補助総額と事業予定はどのようなになったか。

A 今回の補正は、13台の導入による補助の増加を見込んだものである。これにより、予算の積算の上で32台の導入補助を見込んでおり、補助金総額は千8百万円となる。

EMCセンターの整備事業費及びその内容は

Q EMCセンター試験設備を整備することのことだが、事業費の総額及びその内容は。

A 事業費総額は5千4百万円余であり、ノイズ対策用の高周波アンテナを2台購入する。南信州・飯田産業センターが事業主体である。

道路補修に対する地元要望への対応は

Q 道路補修事業について、毎年、地区から多くの要望がされていると思うが、どのように対応をしているか。

A 市全体で毎年2千件ほどの地区要望がある。すべての箇所の補修は予算的な限りもあり難しい。職員が現地を確認し、危険性の高いところから順次補修をしている。

管外視察を実施しました

実施日：26年10月20日(月)～22日(水)
調査項目

- 1 観光戦略からのシティブランド事業の取り組みについて [熊本市]
- 2 黒川温泉観光旅館協同組合の取り組みについて [熊本県阿蘇郡南小国町]
- 3 新幹線によるまちづくり 駅周辺整備と誘客プロモーションの取り組みについて [佐賀県鳥栖市]
- 4 J A糸島の産直市場「伊都菜彩」視察 [福岡県糸島市]
- 5 鳥獣被害対策、農業農村6次産業化支援事業の取り組みについて [福岡県糸島市]



糸島市での視察の様子

産業建設委員会

2月25日、3月12日及び13日に委員会を開催しました。委員会での審査の様子を紹介します。

議案第38号

公の施設の指定管理者の指定について
(飯田市保健休養施設)

案件の概要
飯田市保健休養施設の指定管理者を平成27年度から3年間、飯田観光協会とする。

指定管理の期間の設定の理由は

Q 指定管理者による管理の期間は通常5年間が多いが、今回3年間とした理由は何か。

A この沢城湖周辺の施設のあり方については、関係者で議論を深め検討いただくよう、相手方も同意の上で、ひとつの区切りとして、指定期間を3年間とした。

議案第64号

平成26年度飯田市各財産区会計補正予算(第1号)案

9百万円を超える予算減の原因は何か

Q 分収造林業務の減により、9百万円を超える予算減となったようだが、原因は何か。

A 国から独立行政法人森林総合研究所への予算が減ったことにより、森林総合研究所との分収造林業務委託が減になったことが原因である。

議案第77号

平成27年度飯田市水道事業会計予算(案)

水道事業の安定した経営は

Q 水道料金の収入減が見込まれる中で、支出は増加しているが、なぜか。また、次年度以降も、水道企業として安定した経営はできるか。

A 経費節減に努めているが、維持管理費の増加、特に電気料上昇による経費増加は避けられない。現在の水道料金体系等でも、平成33年までは、応分の確保ができる見込みで、しばらくは、安定的な経営ができる。

議案第53号

平成26年度飯田市一般会計補正予算(第7号)案

プレミアム商品券による経済効果の見込みはどの程度か

Q プレミアム商品券による経済効果をどの程度と見込んでいるか。

A 具体的な経済効果の算出は困難であるが、消費予定額は3億1千万円余であり、消費の喚起の一助となることを期待している。利用者、事業者両者にアンケートを行い、効果の検証をしたい。

議案第54号

平成26年度飯田市一般会計補正予算(第8号)案

前倒しした事業の28年度の実施は

Q 国で地方創生の交付金が補正予算化されたことにより、27年度に新規で取り組む予定の事業を26年度に前倒して予算化したとのことだが、引き続き28年度以降も実施していくか。

A いずれも27年度の当初予算として組立てを行った事業であり、必要な事業について、継続を含めその時期に判断をしたい。

地域で働く人材の確保及び育成は

Q 市の産業全体を見渡し、それぞれの業界で、地域で働く人材の確保、育成を行う必要があると考えるが、どうか。

A 地域経済活性化プログラムの作成過程においても、各業界から人材の確保、育成について課題が寄せられている。課題として認識し、検討を進めていきたい。

観光広報ビデオの活用方法は

Q 観光広報用ビデオを作成し、東京方面でPRを予定しているとのことだが、具体的に、どのように活用するか。

A リニア中央新幹線につながる品川区を足掛かりに、首都圏に向けて広めていきたい。ビデオは、品川ケーブルテレビの区民チャンネルでの放送、観光協会の物産展、県の銀座NAGANOのイベント等での上映を想定している。

議案第65号

平成27年度飯田市一般会計予算(案)

新規就農者に対する支援の内容は

Q 新規就農者に対し行う支援の具体的な内容は。

A 新規就農者に対し、単身者は百50万円、夫婦では2百25万円の補助金を最長で5年間支給する。

有効な補助金の交付先の検証は

Q 飯田の木の家を建てるプロジェクト事業は、補助金交付先が、建築主、工務店、設計事務所と3か所だが、どこに働きかけるのが有効か検証したか。

A 26年度に行ったアンケート結果では、事業周知については工務店からの働きかけが多いことがわかった。しかし、費用負担が大きい建築主に大きなメリットがあることが、事業推進につながることも考えられるので、今後検討を続けたい。

天龍峡温泉交流館の改修のコンセプト及び進め方はどうか

Q 天龍峡温泉交流館はどのようなコンセプトを持って改修を行うか。指定管理者や地元の見解を聞き、十分な検討をする必要があると考えるが、どのように進めていく予定か。

A 現時点では、改修の内容が決まっていない。まずは、天龍峡を訪れた観光客への聞き取り調査結果も参考に、27年度の前半で、地元の意見を伺い、年度末を目途に実施設計を進めたい。

■質疑の後、議案第65号に対して反対の立場から討論がありました。

★反対討論

J R東海が行うリニア中央新幹線の工事に対し、国の認可が下りたが、市民の不安も大きい事業であり、関連予算を計上する当初予算案について、反対。

■採決の結果、賛成多数で可決しました。

産業建設委員会

5月20日に管内視察、6月22日に委員会を開催しました。
委員会での質疑等及び管内視察の様相を紹介します。

議案第96号

平成27年度飯田市一般会計補正予算
(第1号)案

案件の概要

リニア中央新幹線建設関連事業費を追加する。

建設用地取得事務委託の内容は

Q 建設用地取得事務委託の内容は、どのようなものか。

A 用地取得計画に基づき、今年度は松川入財産区が所有する土地の取得を目指す。土地買収費用は市との委託費用には含まれていない。事業初年度であり必要書類の作成等の事務経費のほか、不動産鑑定に必要な調査費を計上している。

Q 具体的に調査箇所名をあげての答弁があったが、さらにその他の場所の調査等を行うか。

A JR東海側から、今年度市に対しての要求箇所は一箇所であり、そのほかの調査予定はない。



管内視察

実施日：27年5月20日

調査項目、視察先等

- ①上郷上黒田配水池
- ②野底山森林公園モーリーの森交流館
- ③権現堂橋（橋りょう長寿化修繕事業）
- ④妙琴浄水場更新整備事業
- ⑤コロロファームビレッジ（6次産業化推進事業）
- ⑥天龍峡温泉交流館
- ⑦天龍峡大橋添架歩廊設置
- ⑧松尾浄化管理センター
- ⑨航空宇宙産業クラスター拠点工場
- ⑩動物園 りんご並木



松尾浄化管理センター（産業建設委員会）



下久堅公民館・下久堅自治振興センター
（社会文教委員会）



庁舎整備事業（総務委員会）

管内視察を実施しました

3つの常任委員会では、委員会が所管する前年度予算の執行状況の確認を行い、事業評価の参考とするため、事業現場の視察を実施しています。



リニア中央新幹線関連所
（総務委員会）



特別養護老人ホーム笑みの里
（社会文教委員会）



航空宇宙産業クラスター拠点工場
（産業建設委員会）

定例会における委員会審査状況報告

定例会名	平成27年第3回定例会
委員会名	産業建設委員会
委員会が所管する事項	産業経済部、建設部、上下水道局、水道局及び農業委員会の所管に属する事項
委員会開催日	平成27年9月17日、18日
主な審査案件	<p>(1)「飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について」</p> <p>(2)「公の施設の指定管理者の指定について(市営住宅等及び共同施設等)」</p> <p>(3)「市道路線の変更について」</p> <p>(4)「平成27年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案」のうち当委員会付託分</p> <p>(5)「平成27年度飯田市下水道事業特別会計補正予算(第1号)案」</p> <p>(6)「平成27年度飯田市水道事業会計補正予算(第1号)案」</p> <p>(7)「平成26年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について」のうち当委員会付託分</p> <p>(8)「平成26年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について」</p> <p>(9)「平成26年度飯田市水道事業決算認定について」</p> <p style="text-align: right;">他4件</p>
議案に対する主な質疑・答弁(執行機関側との議論のやり取り)	<p>【「飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について」及び「公の施設の指定管理者の指定について(市営住宅等及び共同施設等)」】</p> <p>○市営住宅等の管理を、長野県住宅供給公社が行なうが、苦情等の窓口はどこになるのか ⇒⇒長野県住宅供給公社が窓口となる予定であり、入居者説明会等により周知していく。また、市でも課題解決のために必要な取組みは行っていく</p> <p>○入居者同士のコミュニティ醸成に課題があるが、コミュニティ醸成の支援には、様々な課題への対処が必要だが、管理委託後も今までどおりの必要な支援は行われるか ⇒⇒長野県住宅供給公社は、県内712団地を管理しており、地域コミュニティに関する課題等への対処実績もあり、迅速かつ適切に対応できると考える。また、委託に際しては、十分な引継ぎを行ない、引き続き市に残る業務については、必要な調整を進め、サービスが低下することのないよう努める</p> <p>【平成27年度飯田市一般会計補正予算(第3号)案】</p> <p>○松くい虫の被害が拡大しているようだが、現状はどうか ⇒⇒H13年をピークに24年度までは減少傾向にあった。26年度の被害駆除量は、前年度に対して倍増し、増加傾向にある</p> <p>○拡大する被害に対し、今回の補正予算の規模は適切か、またその効果は ⇒⇒被害防除対策に一定の効果があったと考えている。今回の補正額は、現場を精査し、必要最小限度の予算規模にとどめた。現在被害が拡大している原因は不明であるが、予防と駆除の手を緩めると、被害がさらに拡大する状況にある</p>
審査案件に対する表決の結果	・上記全議案について、採決の結果「可決」又は「認定」
26年度議会報告会后に設定した政策的な課題との関係	・設定したテーマに関連する施策及び事務事業について、行政評価の中で検証を行った。
当該議案と行政評価との関係性	・26年度各会計決算認定の付帯意見として、所管する事業のうち14事業を対象として行政評価及び提言をとりまとめた。提言書は他の常任委員会分と合わせ9月18日に議長から市長に渡した。
請願・陳情審査	なし

平成26年度の議会報告会を起点とした調査研究報告書(27年度)

委員会名	産業建設委員会
調査研究テーマ	鳥獣被害対策について
テーマ設定の背景	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物に対する鳥獣被害が問題となっている。 ・県への要望も行ってきたが、改善のための課題について検討を行った。
調査研究の経過・結果	<p>〔課題整理〕</p> <p>(1) 高齢化、規制強化などにより猟友会員が減少している。 (2) 対策に地域格差が生じている。 (3) 市町村単位の取り組みでは根本的な解決にはならない。</p> <p>〔取組経過〕</p> <p>平成25年7月24日 産業建設委員会の開催（前年度事業評価） 8月5日 産業建設委員会協議会の開催（前年度事業評価） 9月 議会による行政評価において「農作物被害対策事業」の拡大を市へ提言。また委員会協議会において「地域経済活性化プログラム」の協議で、ジビエの活用について質疑し、提言した。</p> <p>平成26年3月13日 26年度当初予算において提言の反映状況確認 事業規模・予算ともに「拡大」 4月23日 管内視察において「サル囲いわな」の現地視察 7月23日 産業建設委員会の開催（前年度事業評価） 8月4日 産業建設委員会協議会の開催（前年度事業評価） 9月18日 議会による行政評価において「農作物被害対策事業」の拡大を提言 ・凍霜害等自然災害に対する防災意識の向上と、適切な指導・支援体制の充実を図られたい。 ・鳥獣被害対策として、被害が急増しているサルの個体数削減のための囲い罠設置を拡大されたい。</p> <p>10月 議会報告会において3ブロックで意見交換実施 10月22日 県外先進地の視察実施 （福岡県糸島市）</p> <p>平成27年3月12日 27年度当初予算において提言の反映状況確認 事業規模・予算ともに「拡大」</p> <p>〔調査研究結果〕</p> <p>平成25、26年度の議会による行政評価で「拡大」を提言し、市側からも拡大の方向性が示されている。また、取組みをとおして、有害鳥獣の被害は、地域や種別により個別な対応が必要となる点もあり、市全体として統一的な取組みが困難である点も確認した。以上を踏まえ本テーマについては調査研究を終了し、今後は行政評価を通して、個別対応の状況を確認していく。</p>

平成26年度の議会報告会を起点とした調査研究報告書(27年度)

委員会名	産業建設委員会
調査研究テーマ	遊休農地、耕作放棄地対策について
テーマ設定の背景	<p>〔報告会での意見・要望を踏まえたテーマ設定の背景等〕 平成25年度の議会報告会産業建設委員会分科会の意見交換、アンケートで、「政策提言を目指す議会として、地域環境（田畑など）維持整備の対策に対する方向性を提言願いたい。」旨の意見があった。</p> <p>※委員会の活動報告において25年度議会による行政評価提言として下記を説明 〔H25年度 豆・そばによる遊休農地活用事業 市への提言内容〕 事業としては「拡大」提言 ・遊休農地の活用にも有効な事業である。NP0みどりの風とも連携し、さらに事業を周知するなど栽培面積の拡大を図りたい。 ・本事業による遊休農地の解消状況を把握し、効果を検証されたい。</p>
調査研究の経過・結果	<p>〔課題整理〕 ・荒廃農地の再生を実施しても、一方で耕作者（新規就農者）の確保が難しい。 ・農業従事者の減少とあわせて地区住民も減少しており、根本的な解決が難しい。</p> <p>〔取組経過〕 平成26年 3月13日 26年度当初予算において提言の反映状況確認 事業規模・予算ともに「拡大」 7月23日 産業建設委員会の開催（前年度事業評価） 8月4日 産業建設委員会協議会の開催（前年度事業評価） 9月18日 耕作放棄地解消事業に対し市へ提言 〈提言内容〉 「拡大」を提言 ・現状として、耕作放棄地として増加する面積に、農地として再生した面積が全く追いついていない。より積極的な事業展開をされたい。 ・農業委員会とも連携し、新たな耕作者確保のための施策の充実を図りたい。</p> <p>10月 議会報告会において、4ブロックで意見交換実施 12月12日 委員会協議会において議会報告会で寄せられた意見確認 27年 3月12日 27年度当初予算において提言の反映状況で事業規模・予算ともに「拡大」の確認</p> <p>〔27年度取組〕 平成27年 7月8/9日 産業建設委員会管外視察 石川県七尾市で企業参入による耕作放棄地活用の取組視察 7月22日 産業建設委員会の開催（26年度事業評価） 8月4日 産業建設委員会協議会の開催（26年度事業評価） 9月 日 耕作放棄地解消事業に対し市へ提言 〈提言内容〉 「やり方改善」を提言 ・耕作放棄未然防止策、耕作地の統合拡大、栽培作物の検討、担い手に農業法人、企業参入を考慮するなど、「耕作放棄地解消」を主目的とした政策の下に事業体系を再構築されたい。 ・前年度に実施された耕作放棄地現地調査の結果を有効活用されたい。 ・地域の課題として取り組む必要が有ることから、まちづくり委員会と情報共有するなど協力を求めること。</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会としても、議会報告会の意見交換をとおり研究を進めていく。 ・市の施策、事務事業が効果的に行われるよう監視、評価していく。

平成26年度の議会報告会を起点とした調査研究報告書(27年度)

委員会名	産業建設委員会
調査研究テーマ	市の観光施策について
テーマ設定の背景	<p>〔報告会での意見・要望を踏まえたテーマ設定の背景等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線、三遠南信自動車道等交通網の整備を見据え誘客施策やプロモーションを検討する必要がある。 ・観光統計による観光客数、観光消費額ともに減少傾向が続いており、魅力ある観光地とするために資源や受入れ体制の整備も必要である。
調査研究の経過・結果	<p>※テーマ設定前の取り組み</p> <p>25年度議会による行政評価で「天龍峡温泉交流館管理事業」について「廃止」提言</p> <p>〈市の対応〉</p> <p>事業規模としては「見直し・改善」、予算としては「現状維持」</p> <p>施設の今後については地区等でも検討中であり、その結果も踏まえて方針を出す。</p> <p>〈議会の対応〉</p> <p>委員会としても市の検討状況を注視しつつ、管内視察での現地確認などを通し研究を進めていくことを確認</p> <p>〔取組経過〕</p> <p>平成26年4月23日 管内視察において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぐらの湯(ペレットボイラー施設他) ・遠山郷案内看板 ・天龍峡温泉交流館の現地確認、意見交換 <p>7月23日 産業建設委員会の開催(前年度事業評価)</p> <p>8月4日 産業建設委員会協議会の開催(前年度事業評価)</p> <p>9月12日 産業建設委員会協議会勉強会の開催</p> <p>9月18日 関連事業に対し市へ提言(中間とりまとめ)</p> <p>「海外誘客促進事業」で「やり方改善」を、</p> <p>「まちなか誘客促進事業」で「やり方改善」を提言</p> <p>10月 議会報告会において、3ブロックで意見交換実施</p> <p>12月12日 委員会協議会において議会報告会で寄せられた意見確認</p> <p>平成27年3月12日 天龍峡温泉交流館について、産業建設委員会で指定管理について審査を行った。また、天龍峡に賑わい再生のための改築等整備を行う方針が示された。</p> <p>〔27年度の取組〕</p> <p>平成27年5月20日 管内視察において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天龍峡温泉交流館の現地確認 <p>7月8/9日 産業建設委員会管外視察</p> <p>石川県七尾市で道の駅能登食祭市場の取組み視察</p> <p>岐阜県高山市で観光施策について・外国人観光誘客の取組について視察</p> <p>7月22日 産業建設委員会の開催(26年度事業評価)</p> <p>8月4日 産業建設委員会協議会の開催(26年度事業評価)</p> <p>9月 日 関連事業に対し市へ提言</p> <p>〈提言内容〉</p> <p>「観光誘客宣伝事業」 「やり方改善」</p> <p>「広域連携による観光誘客事業」 「やり方改善」</p> <p>10月 議会報告会において</p> <p>「地域資源を生かし、地域経済や地域の活性化を図るには」をテーマに意見交換</p>
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会としても、議会報告会の意見交換をおし研究を進めていく。 ・市でも観光振興ビジョン策定に着手しており、内容や事務事業への反映状況等を監視、評価していく。